



11月を迎え、いよいよ読書週間の取組や、持久走大会に向けた練習やジョギングタイムが始まりました。10月29日(土)に開催しましたオータムフェスティバルでは、体育館の会場と各教室、各家庭をつないでライブ配信を行い、より多くの皆様に子どもたちの発表をご覧いただきました。保護者の皆様には、ご理解ご協力をいただきまして大変ありがとうございました。3年ぶりのステージでの発表となりましたが、子どもたちは、伸び伸びと自分らしさを表現し、みんなで力を合わせて最後まで頑張る姿が見られ、感慨深いものを感じました。また、行事をとおして、子どもたちの心が大きく成長したことを実感しました。

子どもの喜びは、成長と共に大きく分けて3つの段階を経ると言われています。1つ目は、「もらう喜び」です。自分に対して何かをしてもらって感じる喜びです。2つ目は、「できる喜び」です。いろいろなことができるようになると感じる喜びです。計算ができて喜ぶなど、自分の行いについて感じる喜びを指します。そして、3つ目が、「与える喜び」です。自分の行いによって相手が喜ぶ、その様子を見て感じる喜びです。子どもたち一人一人の活動の中に、「みんなの嬉しいが自分の嬉しい」につながる思いを感じました。課題にぶつかった時にも柔軟に捉えられるようになり、力を合わせて解決することができるようになってきました。今後も、子どもたちの心に響く支援ができるよう、一日一日を大切に積み重ねていきたいと思っております。



10月6日(木)は、本校1.2年生と第一幼稚園児を対象に、若手の演奏家の方々をお迎えして、金管五重奏のクラシックコンサートを行いました。楽器の特徴について教えていただいたり、馴染みのある曲を演奏していただいたりして、本物にふれる貴重な機会となりました。



10月4日(火)より、定期的に体育授業サポーターの方にお出いただき、各学年の体育の学習でご指導いただいています。陸上や跳び箱など、ポイントを押さえたアドバイスをいただくことができ、子どもたちの意欲も高まっています。

また、先生方も良い研修ができています。



10月13日(木)は、3年生の社会科「店ではたらく人」の学習で、保護者の方を講師にお迎えして、スーパーマーケットの仕組みや工夫、どのように品物が届くのか、お店で気を付けていることなど、画像等で分かりやすくお話いただきました。たくさん質問にも丁寧に答えていただきまして、ありがとうございました。